

令和2年度 第1回宮崎支部評議会の概要報告

開催日時	令和2年7月20日（月）14:00～16:05
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	上山評議員、川野評議員、佐藤評議員、塩月評議員、高橋評議員、谷口評議員、松浦評議員、谷田貝議長（五十音順）
議題	(1) 令和元年度決算報告について (2) 令和元年度事業結果報告及び予算執行状況について
議事概要（主な意見等）	<p>(1) 令和元年度決算報告について</p> <p>■資料に沿って事務局より説明 (事業主代表) 新型コロナウイルスによる影響はどの程度受けているのか。また、今後の見通しはどうか。</p> <p>(事務局) 令和元年度決算は、保険料収入・診療報酬のいずれも影響は少ないと考えます。ただ、令和2年度については、景気の悪化による保険料収入減少。医療費については、感染拡大の影響による医療機関への受診控えのため、医療給付費の伸びが一時的に抑えられたこともあるが、現時点での協会財政の見通しは不透明です。</p> <p>(被保険者代表) 準備金が4.3兆円と積みあがっているが、今後どのような状況になっていくのか。</p> <p>(事務局) 去年の資料で見ますと、2024年に単年度収支が赤字になるという見込みでしたが、現時点での見通しは不透明です。</p> <p>(2) 令和元年度事業結果報告及び予算執行状況について</p> <p>■資料に沿って事務局より説明 ■主な意見や質問など</p> <p>《企画総務グループ》 (学識経験者) オンライン資格確認の利用率向上のKPIについて、30年度実績が71%、元年度実績が75%、元年度KPIの設定が68.3%となっているが、30年度実績より低い数値をKPIとした理由はなにか。</p>

(事務局)

30年度実績が確定する前に設定したため、68.3%となりました。

(被保険者代表)

広報活動による理解促進ですが、3月末時点のKPIが50.6%となっているが測定方法はどのようにしているのか。

(事務局)

本部が民間業者に委託して調査しています。結果については、調査項目別に報告があります。

《保健グループ》

(事業主代表)

特定保健指導率がずっと低い状況が続いているが理由は掴んでいるのか。また、実施率が高い支部もあるが宮崎との違いはなにか。

(事務局)

特定保健指導、被扶養者の指導の実施率が低いのは、保健指導を受けられる医療機関が宮崎県内に少ないということが一つあります。地域によっては全くない所もあります。保健指導が出来る病院を増やしていかないといけないということもありますけど、宮崎県の現状として、保健指導が出来るスタッフを持っている医療機関が少ないということがあります。また、保健師・管理栄養士を採用すれば人件費が掛かりますし、医療機関では予防に力を入れるよりは、特にこれからはコロナのこともありますので、看護師を採用しようというのものもあるのかもしれない。

(被保険者代表)

被保険者の方は、実施率が良いのはなぜですか。

(事務局)

被保険者は、支部直営と外部委託の二本柱の構成で、協会けんぽの保健師13名と外部委託の11機関です。11機関については健診の当日や健診後に健診機関の保健師・管理栄養士が事業所を訪問して保健指導をしています。被保険者は、こちらから事業所に行きますし、健診当日に健診機関で受けませんかという声掛けが出来るので受けやすいと思います。

(学識経験者)

特定保健指導の受診率を上げる前段として特定健診を受診していただくことが先決ですけど、特定健診受診率も低い状況なので、まずは特定健診を受けていただいて次の保健指導を受けていただくという順番になると思います。先ほどご意見にもありましたように高い県も有りますので、いろいろ工夫

していただきたいと思います。

(学識経験者)

特定健診・事業者健診・特定保健指導について、令和2年度はナッジ理論を使ってという話があったと思いますがどのようになりましたか。

(事務局)

本部作成のパンフレットを全事業所と被扶養者の方には4月の初めにお送りしています。

(学識経験者)

令和2年度の事業計画の中で、ショッピングモールでの集団健診事業がコロナの状況次第では中止の可能性があるとのことであったが、いろいろな事業が出来なくなると健診離れが懸念される。状況にもよるが、感染対策等をしっかり行い実施するという選択肢もあるのではないかと思う。

《レセプトグループ》

特になし

《業務グループ》

特になし

特記事項

- ・傍聴 なし
- ・次回の評議会は、令和2年10月に開催予定